

山形県シルバー人材センター連合会中期計画（令和 7～12 年度）

○ 計画策定の目的

山形県シルバー人材センター連合会及び各活動拠点シルバー人材センターの事業継続性を高め、高齢者への就業機会の提供を通じて、生きがいの充実、健康の維持増進、生活の安定の支援などシルバー人材センターの社会的役割を発揮し続けるために、一定の計画期間を定め、連合会として共通して取り組む事業展開の基本方向と取組項目を明らかにする。

○ 計画期間

令和 7～12 年度（6 か年間）

○ 会員数等主要指標の推移

別紙 統計表及びグラフ

○ 4つの柱と達成目標

1 会員の拡大と満足度向上

達成目標：計画期間 6 年間で 1,113 名の会員数純増

2 就業機会の拡充

達成目標：就業率（派遣事業）74.5%以上

3 安全就業の推進

達成目標：重篤事故件数ゼロ及び事故発生率（事故件数/就業実人員）1.13%未満

4 事業運営力の向上

○ 事業展開の方向

1 会員の拡大と満足度向上

（1）普及啓発

- ① 普及啓発促進月間（10 月）における積極的な広報活動
- ② マスメディアや自治体広報紙等各種広報媒体の活用
- ③ シルバー事業紹介リーフレット等の作成、配布
- ④ ホームページや SNS を活用した情報発信
- ⑤ 会員撮影写真を活用したオリジナルカレンダーの作製、配布

（2）新規入会促進

- ① 会員募集ポスターの作成、配布
- ② 技能講習や普及啓発セミナーと連動した入会促進
- ③ 女性会員入会拡大のための取組促進

- ④ ハローワークとの連携強化

(3) 退会抑制

- ① 未就業会員への対応強化
- ② センター独自事業等の調査及び情報共有
- ③ 退会抑制対策の取組紹介

(4) 地域社会に貢献する諸活動

- ① ボランティア活動の実施状況調査及び情報発信
- ② 自治体や関係団体との連携推進

2 就業機会の拡充

(1) 就業開拓

- ① 就業開拓専任スタッフの配置及び企業訪問実施
- ② 企業訪問実施状況に関するセンターへの情報提供
- ③ 労働局等関係機関との連絡会議の開催

(2) マッチング機能向上

- ① 就業体験事業の活用促進
- ② マッチング業務に関する情報共有

(3) スキルアップ支援

- ① 会員向け技能講習の実施
- ② センター職員向け研修の実施
- ③ 関係団体主催研修に関する情報提供

3 安全就業の推進

(1) 安全就業推進体制

- ① 安全就業対策基本計画の策定
- ② 安全就業対策推進委員会の開催
- ③ 事故発生状況の調査・分析・報告

(2) 安全意識の向上

- ① 安全就業強化月間（7月）の取組み（標語募集など）
- ② 安全就業推進大会の開催
- ③ 啓発チラシ、標語ステッカー、ヒヤリハット事例の配布

(3) 会員への安全配慮

- ① 安全就業巡回訪問の実施

- ② 安全就業推進員研修会の開催
- ③ 安全就業先進地視察研修

4 事業運営力の向上

(1) 組織体制の強化

- ① センター訪問指導や調査立会
- ② 事業運営等に関する専門相談・会計指導
- ③ 各種委員会の開催
- ④ 法人ガバナンス等に関する役職員研修
- ⑤ 諸会議の開催

(2) 適正就業の確保

- ① 山形労働局定期検査への事前指導
- ② 全シ協委嘱シルバー人材センター事業指導事業
- ③ 適正就業に関する研修等の実施

(3) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ① 業務システム操作等のフォローアップ研修
- ② 会員のデジタル利用促進（PC やスマホ講習会等）

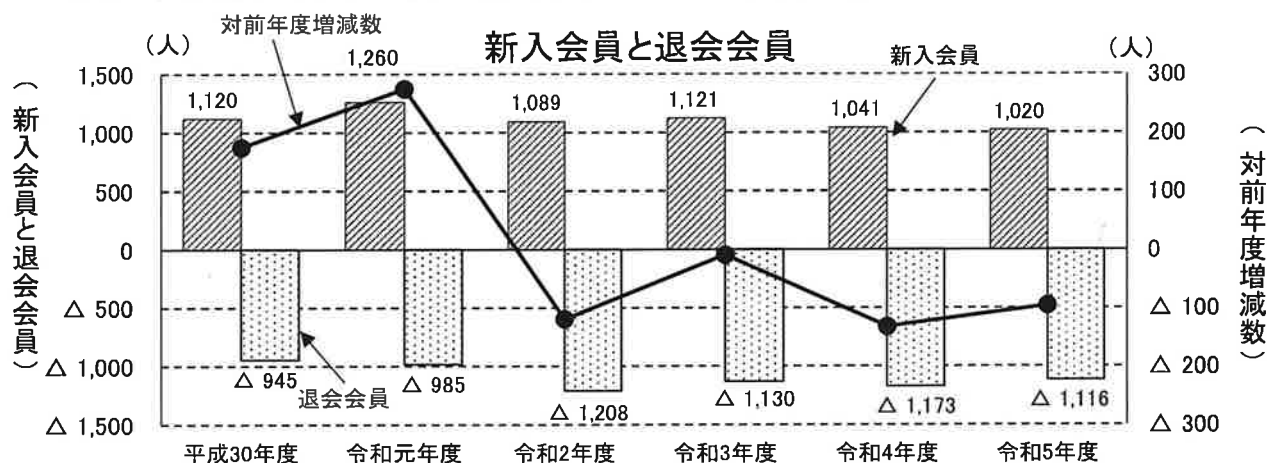
(4) センター間協力体制の推進

- ① 各地域ブロック会議の開催
- ② 若手職員や女性職員を対象とした研修等の実施

別表

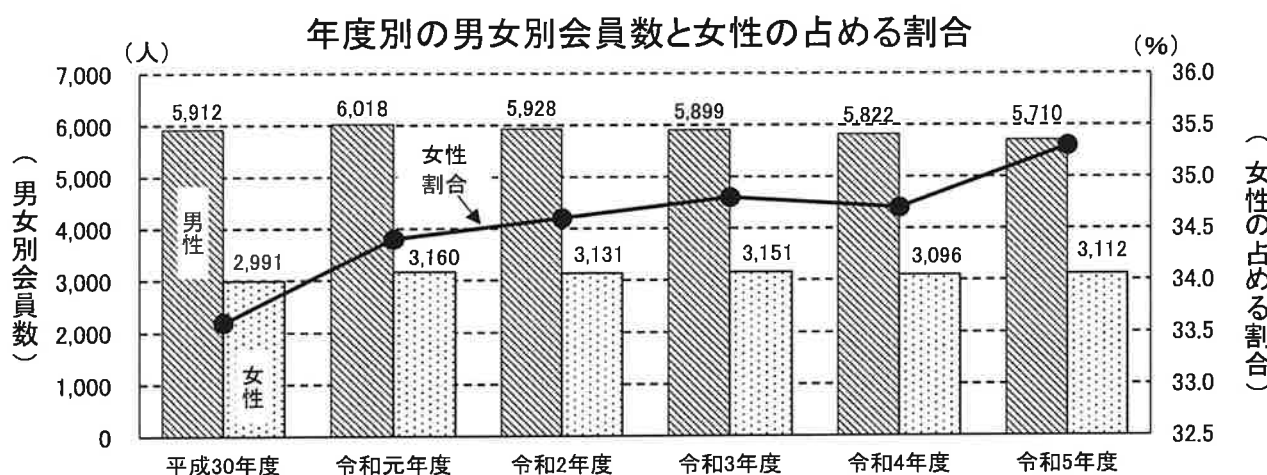
1 会員数

- ・平成30年度・令和元年度は、新入会員が退会会員を上回っていた。
- ・令和2年度以降は、退会会員が新入会員を上回り、会員数が減少している要因となっている。



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数(人)	8,903	9,178	9,059	9,050	8,918	8,822
対前年度増減数(人)	175	275	Δ 119	Δ 9	Δ 132	Δ 96
対前年度増減率(%)	2.0	3.1	Δ 1.3	Δ 0.1	Δ 1.5	Δ 1.1

- ・会員数は、平成15年度の10,871人をピークに、以後は平成29年度まで毎年度減少していた。
- ・女性会員は、平成15年度の3,529人をピークに、以後は平成28年度まで毎年度減少していた。
- ・女性会員数は、平成28年度の2,841人を過去最少に、以後は毎年度増加傾向に転じて、会員数に女性の占める割合も増加している。
- ・令和元年度の女性会員は、令和23年度の3,029人以来、8年度ぶりに3千人を上回った。

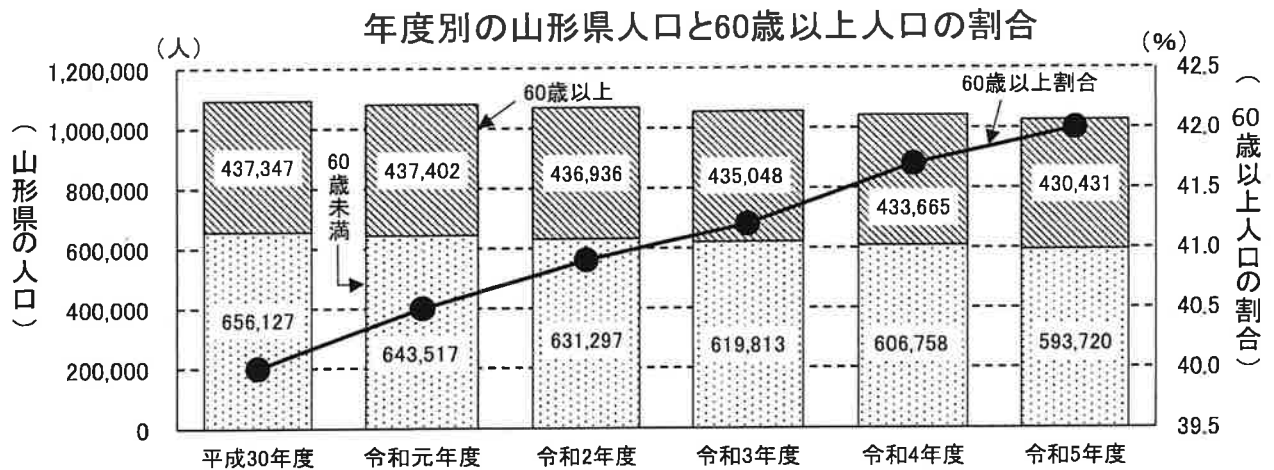


区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数(人)	8,903	9,178	9,059	9,050	8,918	8,822
男性	5,912	6,018	5,928	5,899	5,822	5,710
女性	2,991	3,160	3,131	3,151	3,096	3,112
女性の占める割合(%)	33.6	34.4	34.6	34.8	34.7	35.3

※資料の出典:連合会発行の各年度の「事業統計年報」により作成した。

2 山形県の人口と60歳以上の割合

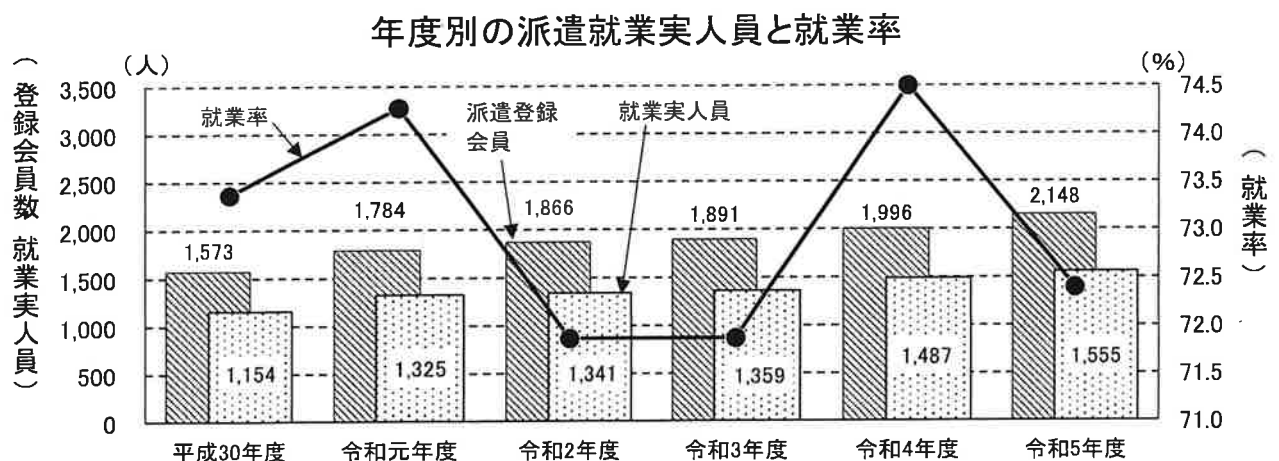
- ・山形県の人口は減少傾向にあるが、60歳以上では増加傾向にある。
- ・人口に60歳以上が占める割合は年々増加し、平成30年度では初めて40%に達した。



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
山形県人口(人)	1,093,474	1,080,919	1,068,233	1,054,861	1,040,423	1,024,151
60歳以上	437,347	437,402	436,936	435,048	433,665	430,431
60歳以上割合(%)	40.0	40.5	40.9	41.2	41.7	42.0
会員数(人)	8,903	9,178	9,059	9,050	8,918	8,822
粗入会率(%)	2.036	2.098	2.073	2.080	2.056	2.050

3 派遣登録会員と就業実人員

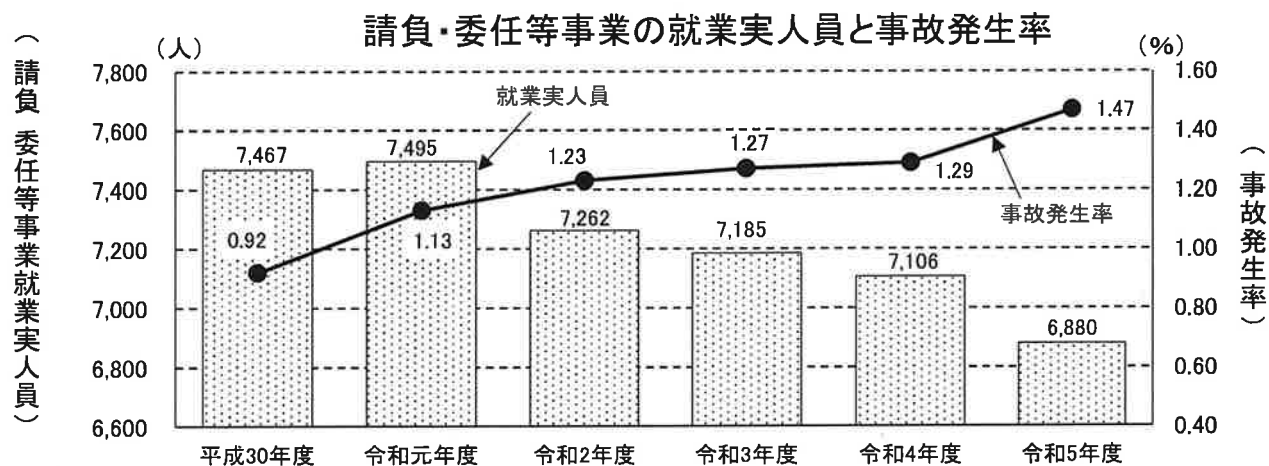
- ・派遣登録会員と就業実人員ともに、毎年度増加している。
- ・しかし、就業率は年度によって減少し、派遣登録しても就業していない会員がいる。



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
派遣登録会員(人)	1,573	1,784	1,866	1,891	1,996	2,148
就業実人員	1,154	1,325	1,341	1,359	1,487	1,555
就業率(%)	73.4	74.3	71.9	71.9	74.5	72.4

4 請負・委任等事業の就業実人員と事故発生率

- ・請負・委任等事業の就業実人員は、減少傾向にある。
- ・一方、事故発生件数は毎年度増加し、就業実人員の減少と相まって、事故発生率は毎年度上昇している。



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
請負就業実人員(人)	7,467	7,495	7,262	7,185	7,106	6,880
事故発生件数(件)	69	85	89	91	92	101
事故発生率(%)	0.92	1.13	1.23	1.27	1.29	1.47

注: 事故発生率 = 事故発生件数 ÷ 就業実人員 × 100